

## 目標達成計画

作成日: 平成26年 12月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	固定されていない家具が一部あり、高所にある荷物など、災害の時に危険の無いように環境整備する必要がある。	非常災害時の被害を最小限にするため、各居室・共用部の環境整備を行う。	非常災害時を想定し、各居室・共用部の家具を転倒防止のため固定する。また、高所に積んでいる荷物を整理し、荷物が転落してけがに繋がることの無いようにする。	12ヶ月
2	35	非常災害時における、近隣の協力体制の構築については、まだ現在取り組み中である。	非常災害時に、近隣の協力体制の構築について、積極的に取り組む。	運営推進会議や日常のお付き合いの中で、非常災害時に協力をお願いできる様に、関係作りや必要性についての説明や依頼を機会を作って行う。GH野田の避難訓練に参加・見学してもらうことから始める。町会の訓練にも参加させてもらう。	12ヶ月
3	52	従来から課題になっている清潔感ある環境にするための整備が必要。	入居者にとって、安心・安全・清潔な環境になるように入居者と職員が力を合わせて取り組む	①業務改善を行い、毎日の日課で入居者と職員で共用部・居室を清掃する時間を確保する。②季節に応じた物を飾ったり、観て、癒しや楽しみになるものを考案・工夫する。③各居室のシーツ交換と居室掃除を週1回行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。